

て我等の筑豊労働會館に於て年次大會を舉行することを衷心喜びとする。

資本も労働も國家産業の發展に關しては平等の力を致すのであるが、資本家は資本を生活となし大多數の労働者は最低の生活にさへ脅かされてゐる殊に筑豊灰田の坑夫生活は一著劣等である、我等は組織の擴大強化を圖り正統の運動に依つて期かなる生活權の獲得に邁進するものである。

8、資格審査委員報告

代議員七十七名 左記内詳の通

佐 岡 正 真

本 部

二五名

山川地方支部連絡委員會

二〇名

鞍手地方支部連絡委員會

二〇名

粕屋地方支部連絡委員會

一二名

9、納領期暇

議長

宮崎 太郎

藤岡盟納領を期暇

11 10、會計報告

宮 本 平

一般報告

宮崎 太郎

昨年は大雪を降かなかつたので本日は二箇年間の闘争報告を報告する。組合としては經常費を持たないので先づ第一に組合の充實に努めねばならないのである。今日の東京は氷結するものでない之れに對する準備をしておかねばならぬ即ち組合の擴大強化を圖らねばならぬ。事務的には九年度に執行委員會を五回、十年度には同三回事務會議を三回開催。組合員の組織方面よりすれば同一職場に居る者との連絡が出来て漸次確實なる組織を擴大しつつある。